

能越自動車道と城山

8月15日、久しぶりに旧道から黒崎へと歩く城山横断を行う。旧道を歩く人が少ないのか草が多く、やや道が細くなっていた。「能越自動車道」による埋蔵文化財調査が旧道付近に近づいてきた。三の丸から二の丸と歩き本丸へと上がった。本丸跡にバイクで来た人がいた。その人は本丸からの景色を絶景と称された。

今回はコースタイムを取るため展望台には寄らずそのまま南大呑1号線の道を歩いた。多根へと下りる林道東山3号線はまだ通行禁止だった。途中のイタドリの花がきれいだった。下りとなって富山湾を越えて立山連邦が木々の間に見えていた。菅沢から黒崎間もマタタビの実がいくつか見られた。黒崎に出る地点で「能越自動車道」の工事が行われていた。出村付近でシャジンの花を久しぶりに見た。下佐々波からバスに乗って七尾へと帰ったがバスの乗客は自分ひとりだった。

久しぶりの蹴落道

城山の素晴らしさを話す機会が近づき、8月24日に蹴落道を歩いた。田んぼの畦は草が刈られているが、山道は笹やマタタビの蔓など草木が道を塞いでいた。

以前、野尻湖友の会の4月巡検前には必ず下刈りをしていた道だけど今はそんなこともない。歩きにくさから山道の途中から崖をよじ登った。尾根の3段目にあるイワカガミの群落も再確認した。

駐車場で一休みをした後、長丸殿の石垣を撮影した。駐車場上の2段目が道であり、そこから上る道に石垣がある。登りきったところに屋敷の入り口も確認できる。

帰りは旧道を下った。「樋の水」の辺りで木が倒れ落ちて道を塞いでいたので、枝を刈った。



長丸殿下の石垣

展望台からの夕日

27日夕日を求めて展望台へ車でいった。青空だったがいつもの霞。水平線上には雲があって、入り日の確認はできなかったが、赤住の鉄塔の密集している方向に日は沈んだ。時間は6時32分ころと思われる。

帰り道、15cmほどのイモムシが道にいた。あの大きい蛾の幼虫と思われる。その帰り道、まだ笹の葉を集めている人がいた。笹餅などの材料としている。